

第3章	水産業	学習日	名前
		月	
		日	

漁獲量 1 中国 2 インドネシア 3 インド 4 ベトナム 5 ペルー	水産物 輸出 1 中国 2 アメリカ 3 ドイツ 4 オランダ 5 日本	水産物 輸入 1 アメリカ 2 日本 3 中国 4 スペイン 5 フランス	日本の輸入先 1 中国 2 アメリカ 3 チリ 4 ロシア 5 ベトナム
--	--	---	--

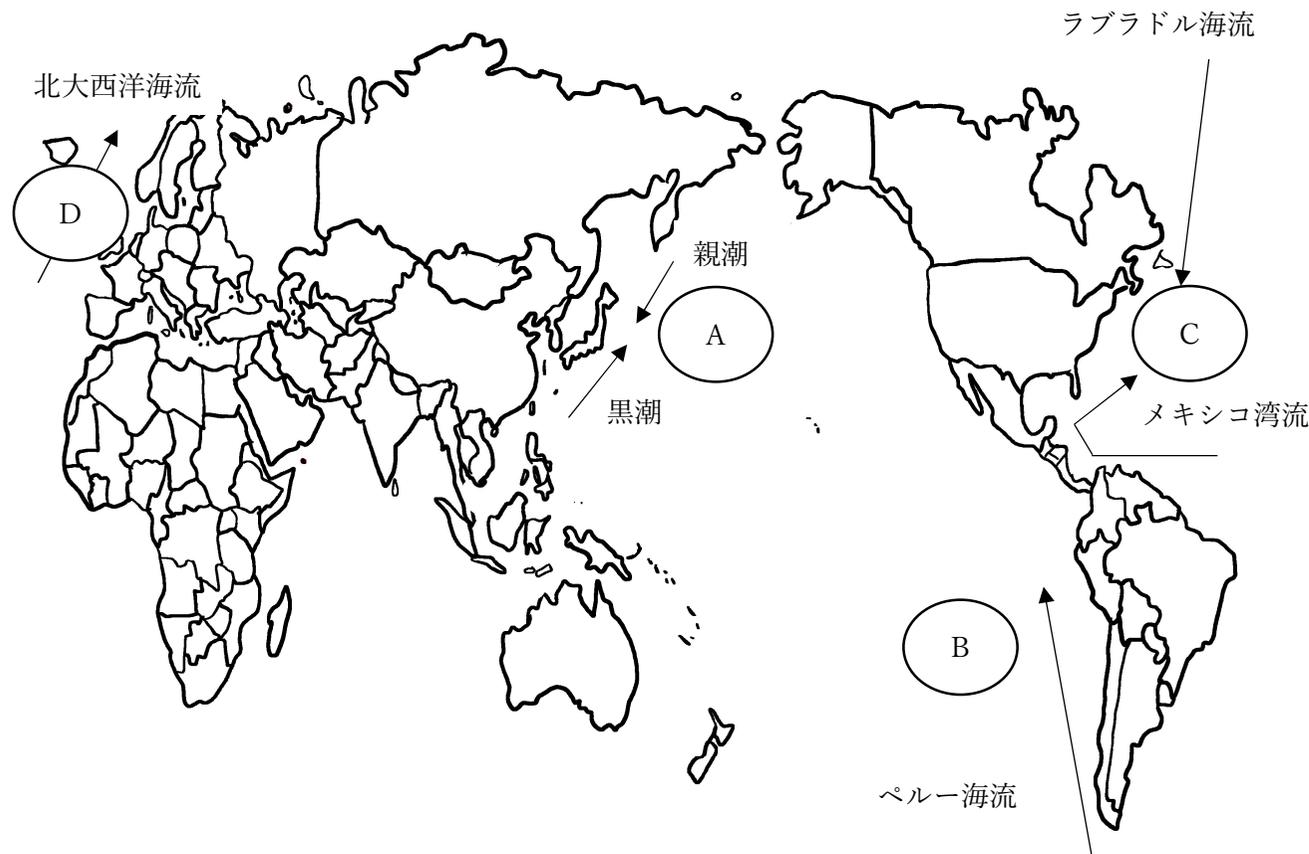
- A = (4)) 日本・ロシア・中国、世界最大、さけ・ます・いわし
 B = (5)) ペルー沖、かたくちいわし (アンチョビ)
 C = (6)) アメリカ・カナダ、にしん・かれい・さば
 D = (7)) ノルウェー・アイスランド・ロシア、にしん・たら

歴史 (漁獲高1位)
 日本 → ペルー → 日本 → 中国
 ※ ペルー沖はエルニーニョ現象がおこると寒流の温度が上昇。湧昇流が起こりづらくなり、カタクチイワシがとれなくなる。

好漁場になるのは、

- ① (1)) … 暖流と寒流がぶつかる場所
 ② (2)) … そのなかでも浅くなっているところを浅堆 (= バンク) という。
 ③ (3)) が発生しているところ

【有名な海域】



【有名な国】

中国

現在水揚げ高世界最大

- ① 中国の経済発達によって食生活が向上、国内需要が増加
 ② 日本などへの輸出が増加
 ③ 内水面で営まれる養殖業を政府が援助、漁獲量が急増した

ペルー

(8)) が主要な魚種 … 豊不漁の差が大きい。したがって漁獲量の変動も大きい

日本

近年は減少傾向

遠洋漁業 … 1973年の(9))、1977年の(10)) により衰退

沖合漁業 … 乱獲等の影響で漁獲量は減少

沿岸漁業 … 埋め立て等の影響で伸び悩む

→ 近年は輸入が増加 (中国等からの輸入が多い、モーリタニア、モロッコのタコなどは覚える)

養殖業について

養殖は全世界でさかんになっている

→ まぐろの養殖についてはかなり技術が進んできている

→ ウナギの養殖については、以前より進んできているがまだ実用化レベルではない